

2015-B

拠出金・基金の
名称

国際家族計画連盟 (IPPF) 拠出金

種 別

イヤーマーク

ラン・イヤーマーク

我が国からの拠出には双方を含む

【拠出先の国際機関名】国際家族計画連盟 (IPPF)

【所管官庁担当局課・室名】外務省国際協力局国際保健政策室

【当該任意拠出金の目的・用途等】

特に公的サービスが届きにくい貧困層や社会的弱者に対して、草の根レベルでの家族計画、母子保健、女性の健康とエンパワーメントに関連するサービス・情報の提供のほか、資金および避妊具・薬品、医療機器、車両、視聴覚機器・教材、事務機器等の物品の提供や、人口・家族計画情報の収集、啓発活動、政策提言活動等を行っている。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率 (%)
平成27年度	931,013	8,464		1米ドル = 110円	100
平成26年度	931,013	9,598		1米ドル = 97円	100
平成25年度	821,746	10,021		1米ドル = 82円	100

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

・人口・リプロダクティブ・ヘルス分野における日本の支援は、国際社会全体の同分野への支援の5% (2008年UNFPA人口活動における財源フロー(2010年))に過ぎないが、人口・家族計画分野で世界最大の非政府機関として国際的に大きな発言力を有するIPPFの主要拠出国(12%, 第3位(2015))としての地位を維持することにより、同機関への影響力を引き続き最大限確保し、この分野の日本の貢献を効果的に訴えていくことが可能。

・IPPFの2015年実績は以下の通り: 1億7,530万件の性と生殖に関する健康に関するサービスを提供し、6,170万人がIPPFによるサービスを受用。その82%が、若者や貧困層、社会から疎外された人々等の公的サービスが届きにくい社会的脆弱層である。またサービスの44%を25歳未満の青少年に提供している。480万件の望まない妊娠を予防し、120万件の安全でない人工中絶を予防。性と生殖に関する健康・権利の促進のため、82件の政策・法律の改正に貢献。